

保存会だより

2007.2.1
黒森歌舞
伎保存会

○事務局○
酒田市文化課
酒田市中町 1-4-10
Tel.0234-26-5777

正月公演・酒田公演を開催します

今年も、恒例の正月公演（二月十五日・十七日）と酒田公演（三月四日）を開催します。

今年の演目は「尼子十勇士二度目誉（あまこじゅうゆうしにどめのほまれ）です。昭和十四年以来、六十八年振りの上演となります。現在、公演に向けて、座員は一生懸命に稽古に励んでいます。



黒森小学校児童による「少年歌舞伎」は、今年で10周年。練習にも熱が入ります。

佐藤進一座長は、「今回の演目は、六十八年振りなので、私たちも見たことがなく、手探り状態で稽古に励んでいます。参考になる中央の資料もないため、逆に黒森歌舞伎らしさを存分に出した芝居ができると思っています。ご期待ください」と語ってくれました。

今
なお今年から、正月公演の際、お客様のために会場案内係を配置したり、「黒森歌舞伎幕の内弁当」（限定三十食、九百円）を販売したりと、新しい試みも始めます。

これからの活動を
お知らせします。

○二月

三日（土）節分／豆まきと今年の天気占いをします。
四日（日）おさらい／通し稽古で動きやセリフを確認します。
十三日（月）花道づくり／地域の方々が花道を組み立てます。
十四日（火）寄せ太鼓／子どもたちが大入り祈願と宣伝のために太鼓を打ち鳴らします。
十四日（火）あご別れ／最終確認と成功祈願を行います。
十五日（木）正月公演
十七日（土）正月公演
十八日（日）勘定／精算などを行います。

○三月

四日（日）酒田公演／酒田市民会館「希望ホール」
十一日（日）太夫振舞／境内の井戸で水垢離を取った若者が、「神饌の儀」を行い、来年の演目を決めます。

酒田公演の
PRをお願いします

保存会主催で恒例の酒田公演を開催します。会員の皆様には、ご来場いただくとともに、ぜひ多くの方へ宣伝していただきませうようお願いいたします。

○日時／三月四日（日）

正午～少年太鼓・少年歌舞伎午後一時～本狂言「尼子十勇士二度目誉」

○会場／酒田市民会館「希望ホール」

○入場券／前売り券五〇〇円、当日券七〇〇円

○前売り券取り扱い／酒田市民文化課、酒田市総合文化センター事務室、酒田市黒森公民館、酒田市役所地下売店、酒田市民会館「希望ホール」事務室、八幡中央公民館、ひらた図書センター、松山教育振興室で取り扱っています。

○お問い合わせ／酒田市民文化課
Tel 0234-26-5777

・・・今回の演目を紹介します・・・

あまこじゆうゆうしにどめのほまれ 尼子十勇士二度目巻

【序段】 義久館段

戦国時代、雲州富田の太守 尼子義久と近臣等居る所へ、山中鹿之助外二名、主君への御見得致し祝盃となる。

八重姫と対面する、侍女に夜毎に通ふ者あり、あやしみ妖怪と思へど、鹿之助等に退治して下されと頼まれる。鹿之助始め三人勇士忍びうかがえる、美童現れるを弓矢放ち妖怪を討ち取る。

皆々てがら／＼と御喜びなり、その武勇をたたえたり。

【二段目】 まえこの浜の段 二場

(義久の陣)

義久と鹿之助が話し合いして居る所へ山名氏資の上使が来り、尼子家に山中鹿之助と云ふ者、山名氏資に敵対せんとは、望みとなれば、まえこの浜にてせんだんをひらくと上使へ さい承知したと返答する。

(まえこの浜)

尼子の家臣、横道兵庫之助の妻浮舟が、播州のまえこの浜へ夫を訪ねて来る。

山名の家来 田原兵治、女と見るよりたわむれるを、尼子方の茨之助かけつけ、切り合いとなって打ち殺す。敵と味方、合戦となる。山名氏資の勇者 菊地乙八、山中鹿之助と一騎討ち立合い、鹿之助切り倒す。山名氏資軍兵引き連れ出て 尼子義久と対面する。和睦をして厚情を述べ別れ行く。

「尼子十勇士」とは、山陰地方の戦国大名、尼子氏の家臣の十人の優れた武士のことです。

中でも山中鹿之助は勇将と言われ、尼子氏が毛利氏から滅ぼされた後も、諦めず再興を目指します。

一幕目の工夫を凝らした演出の妖怪退治の場面や、二幕目の力の入った立ち回りの場面は見所です。ご期待ください。

副座長が出前講師に



このたび二つの依頼があり、富樫久一副座長が講師となつて黒森歌舞伎の解説を行いました。

一つ目は、生涯学習施設「里仁館」の里仁講座「黒森歌舞伎の世界」。九月十三日、十月十一日、十一月八日の三回に渡つて、二十人程の受講生へ講義をしました。三回目の現地研修では、演舞場等を見学。受講生は、普段なかなか見ることのできない舞台裏を興味深く見ていました。

二つ目は、一月十九日の酒田商工会議所女性会の研修会。これは、来年度の同女性会東北大会の際、ゲスト出演予定の黒森歌舞伎を事前に勉強するために企画されたものです。約五十人の会員は、黒森歌舞伎の歴史やセリフ等の解説を聴いて理解を深めました。